



セキュリティホワイトペーパー



作成日： 2019 年 12 月 1 日

最新改訂日： 2023 年 10 月 1 日

1 利用者との責任分界点

鉄道情報システム株式会社の責任

鉄道情報システム株式会社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- クラウドサービスアプリケーションのセキュリティ対策
- クラウドサービスアプリケーションに保管されたお客様データの保護
- クラウドサービスアプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- クラウドサービスアカウントの適切な管理（登録、削除、組織管理者権限の付与など）

2 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、当社が保有する日本国内(北関東)のデータセンターに保管されます。

3 データの削除

- クラウドサービスの契約が終了した場合、及び試行利用の期限切れの場合、契約終了もしくは期限切れから 60 日以内に、お客様からお預かりしたデータは完全に消去されます。
- 契約終了後及び試行利用の期限切れ後も、当社にて取得したバックアップデータおよびログデータは削除せず当社環境にて保管しますが、データは 1 年後に完全に消去されます。

4 ラベル付け機能

全般

- お客様は、勤怠種別設定やスタッフ設定など、任意の名称及びカテゴリを設定することが可能です。
 - 「ヘルプセンター」(<https://www.otasukeman.jp/helpcenter/>)をご参照ください。

5 利用者登録および削除

- お客様は、契約の範囲内において、いつでも自由にユーザーの登録・削除を行うことが可能です。

- 企業ユーザー管理登録、企業メニューエリア C、スマホアクセス利用ユーザー管理の機能を提供しています。
- 「ヘルプセンター」(<https://www.otasukeman.jp/helpcenter/>)をご参照ください。

6 アクセス権の管理

- お客様は、登録したユーザーの権限を、自由に切り替えることが出来ます。
- 企業管理者、シフト作成者、スタッフの各権限を任意に設定することができ、企業管理者権限を付与することで、各種機能の管理画面にアクセスすることが可能です。

7 パスワードの配布方法

- 登録情報（パスワード等）をシフト作成者に通知する方法として、情報を PDF ファイルに出力することができます。出力したいユーザーに対して「PDF 出力」をチェックし、（画面下の）「仮パスワードの出力」を実行することで、ファイルが出力されます。
- パスワードを忘れた場合には、シフト作成者がパスワードをリセットし、再発行をすることができます。

8 暗号化の状況

全般

- 「お客様のパスワード」は、不可逆暗号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。それ以外のデータに関しては、データベースのディスク暗号化を用いて暗号化されています。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL 通信によって暗号化されます。なお、お客様要望による暗号化形式には対応しておりません。

9 変更管理

- サービスのバージョンアップ情報を始めとした、各種の変更に関する情報は、「お知らせ」欄より閲覧することが可能です。

10 手順書の提供

- お客様が利用できる手順書は、「ヘルプセンター」(<https://www.otasukeman.jp/helpcenter/>)より閲覧することが可能です。

11 バックアップの状況

全般

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、日次でバックアップを取得しています。
- 過去 1 年分の勤務表をダウンロードすることができますが、お客様が設定した情報のバックアップからの復元は承っておりません。なお当月以前の勤務表は、スタッフの削除や勤務種別の削除・名称の変更等により影響があることから、過去作成した勤務表と同じものであることを保証いたしません。

12 ログのクロックに関する情報

- クラウドサービスサービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時間は、インフラ提供者が用意しているタイムサーバと同期しています。

13 脆弱性管理に関する情報

- クラウドサービス開発チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。
- 脆弱性検査は、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が公開する「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に掲載された事業者*¹による脆弱性診断を定期的に行っています。脆弱性を含めた脅威が確認された場合は、速やかに対応いたします。

14 開発におけるセキュリティ情報

- クラウドサービスシステムの開発は IPA をはじめとしたガイドラインおよび、社内で定められたコーディング規約に従って実施されます。

¹ 経済産業省が策定した「情報セキュリティサービス基準」への適合性を各審査登録機関により審査され、同基準に適合すると認められた事業者

15 インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合は、インシデント発生してから24時間以内を目標にお客様に通知もしくは直接連絡します。通知方法はお助けマンの通知ページへの表示もしくはサービスのお知らせ表示にて行います。直接連絡はクラウドサービス利用契約時にご提供頂いた組織管理者のメールもしくは電話いたします。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「勤務シフト作成お助けマンサポート担当」窓口より受け付けています。

16 お客様データの保護及び第三者提供について

- お客様から預かったデータを適切に保護することは、鉄道情報システム株式会社の責任です。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、クラウドサービス開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- 但し、裁判所、その他の法的な権限のある官公庁からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、鉄道情報システム株式会社は、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

17 適用法令

- お客様と鉄道情報システム株式会社との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

18 認証

- 鉄道情報システム株式会社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証²を取得しています。
- 「勤務シフト作成お助けマン Day」は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS クラウドセキュリティ認証を取得しています。

² <https://isms.jp/1st/ind/>

19 外部クラウドサービスの利用

- 当社クラウドサービスでは、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	情報
JRS クラウド	インフラ構築,運用	鉄道情報システム株式会社	個人名、メールアドレス、PDF ファイル等
SendGrid	メール送信	SendGrid	システムから送信するメール

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2019/12/1	初版発行
1.1	2020/12/1	サービス名称変更
1.2	2021/7/2	13.脆弱性管理に対する情報 に項目追加
1.3	2022/2/1	16.お客様データの保護及び第三者提供について 修正
1.4	2023/4/1	3.データの削除 8.暗号化の状況 修正
1.5	2023/10/1	19.外部クラウドサービスの利用 に項目追加

この資料に関するお問い合わせ

鉄道情報システム株式会社 第二営業企画部 営業開発課

勤務シフト作成お助けマン担当

TEL: 03 - 6300 - 6086

Email : kshift_support@jrs.co.jp